

○「担い手のリタイアに早急対応」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成31年度第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年1月20日(月) 19:00~21:00
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出 席 者: 農業委員2人、推進委員1人
農業者2人、市1人、事務局1人
※委員3人、委員以外4人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 中核農家の離農による対策協議
 - ・農地10ha、ハウス10棟
 - ・耕作集落は、栗田地区、上宮津地区、舞鶴市。小作料は現金と現物
- 協議の結果
 - ・機械、乾燥機は引き続き所有して貸与を検討してもらう
 - ・親族の移住希望の対応 ・耕作地の把握(親族が把握できるように)
- 今後の予定 2月上旬に各集落世話役会議を行い耕作者の掘りおこしを要請(委員が要請)



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援